

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	山形県村山総合支庁
実習期間	平成 30年 9月 10日 ~ 平成 30年 9月 14日
学生氏名	武田 瑠希也
実習プログラム	<p>9月10日</p> <p>午前 オリエンテーション 村山総合支庁の概況説明 地域産業経済課産業振興班の業務内容についての説明</p> <p>午後 業務内容についての説明</p> <p>9月11日</p> <p>午前 出張 職業能力開発専門学校へスキル向上研修</p> <p>午後 アンケート整理</p> <p>9月12日</p> <p>午前 アンケート整理 アンケート内容について自分の意見をまとめる</p> <p>午後 出張 山形南高校 大学等進学者の地域産業理解促進事業</p> <p>9月13日</p> <p>午前 出張 障がい者雇用セミナー</p> <p>午後 障がい者雇用企業視察</p> <p>9月14日</p> <p>午前 新聞の切り抜きを読む</p> <p>午後 復命書の作成</p>
学び・気づき (300字程度)	<p>社会人の基礎となる礼儀や言葉遣いに関しては、電話での対応や出張先でのあいさつ、相手との会話、お礼など様々な場面で体感することが出来た。また、出張先の方々との会話では最近の世の中の出来事などの会話が多くあり、時事についてよく知ることが大切だとわかった。</p> <p>地域との関わり方では、村山インダストリー倶楽部といった組織をつくり、企業同士の交流の場や企業と企業のマッチングを行っていることが分かった。他にも県内就職してもらう為に高校生への講話を行うなどのたくさんの活動をしていた。県内の企業と深く関わり、どうすることが一番活性化するのか考えていることがわかった。そういった所から公務員としての在り方も感じる事ができた。</p>

<p>今後に向けた 抱負 (200字程度)</p>	<p>出張に行った時などで、自己紹介するタイミングなどが難しく自分から積極的にしていくことが出来なかったため、ためらわずに行動する決断力をつけていく。 職員の方に自分から話しかけ、業務などについてお話をうかがう事が目標にあったが、自ら職員の方に話しかける回数が少なかったと感じた。主体性が足りなかった。会話の中に山形県の出来事が出てきたが、自分が知らない事が多かったため、新聞等を読むようにする。</p>
<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p>	<p>具体的な活動として山形県の企業27社に年4回も動向調査を行っているなど県内企業と深く関わり、向上のために取り組んでいることが良く分かった。他にも様々な活動があり、山形県の発展のために取り組む姿が魅力であった。 職場環境は、皆さんとても優しく、暖かい職場であり学びやすかった。行っている取り組みなどをとても丁寧に説明してくださり分かりやすかった。また、これから社会人になるに当たっての必要な知識やスキルも教えて頂いた。</p>
<p>写真 (1~3点)</p>	